



# 平面図

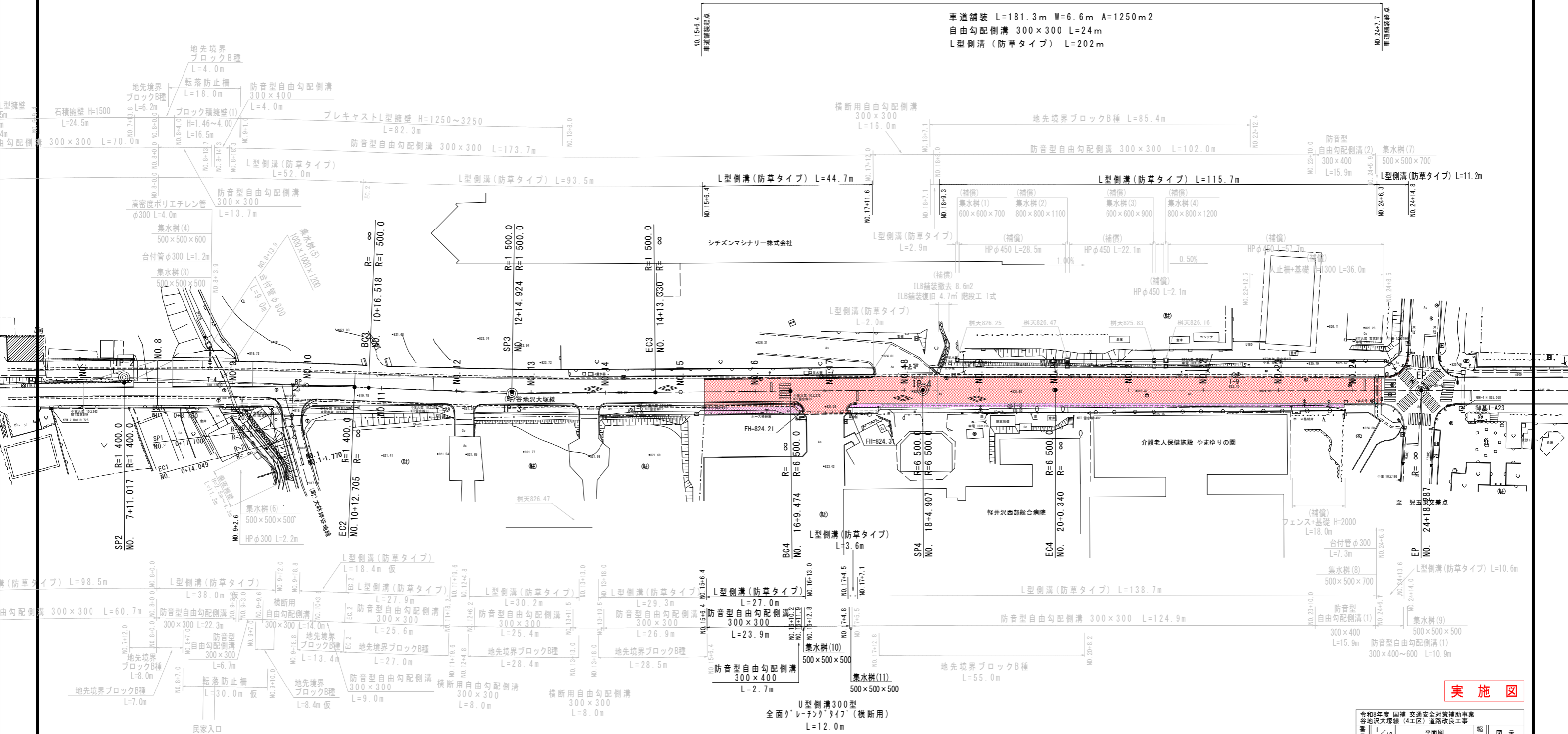
町道 谷地沢大塚線 北佐久郡御代田町児玉 大林

A1:1/500

A3:1/1000

令和8年度 国補 交通安全対策補助事業  
谷地沢大塚線(4工区)道路改良工事  
道路改良工 L=181.3m W=6.0(12.0)m

車道舗装 L=181.3m W=6.6m A=1250m<sup>2</sup>  
自由勾配側溝 300×300 L=24m  
L型側溝(防草タイプ) L=202m



実施図

点名	X座標	Y座標	備考
御基1-A23	34559.578	1543.978	※直排水準
御基3-E39	34791.506	1076.357	※直排水準
T-1	34772.796	1092.636	※直排水準
T-2	34751.054	1140.116	※直排水準
T-3	34732.037	1194.040	※直排水準
T-4	34709.986	1241.701	※直排水準
T-5	34678.413	1294.217	※直排水準
T-6	34657.299	1338.543	※直排水準
T-7	34643.932	1388.615	※直排水準
T-8	34615.508	1430.998	※直排水準
T-9	34597.693	1488.861	※直排水準

令和8年度 国補 交通安全対策補助事業			
谷地沢大塚線(4工区)道路改良工事			
番号	1/12	平面図	縮尺 図示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田町大字児玉 大林			
町長	小園 謙	金井 照	嶋原 設計 森泉
御代田町		管理技術者	
設計会社	日測設計株式会社	調査技術者	
測量会社	日測設計株式会社	主任技術者	
調査会社		主任技術者	



実施図

# 縦断図 (2)

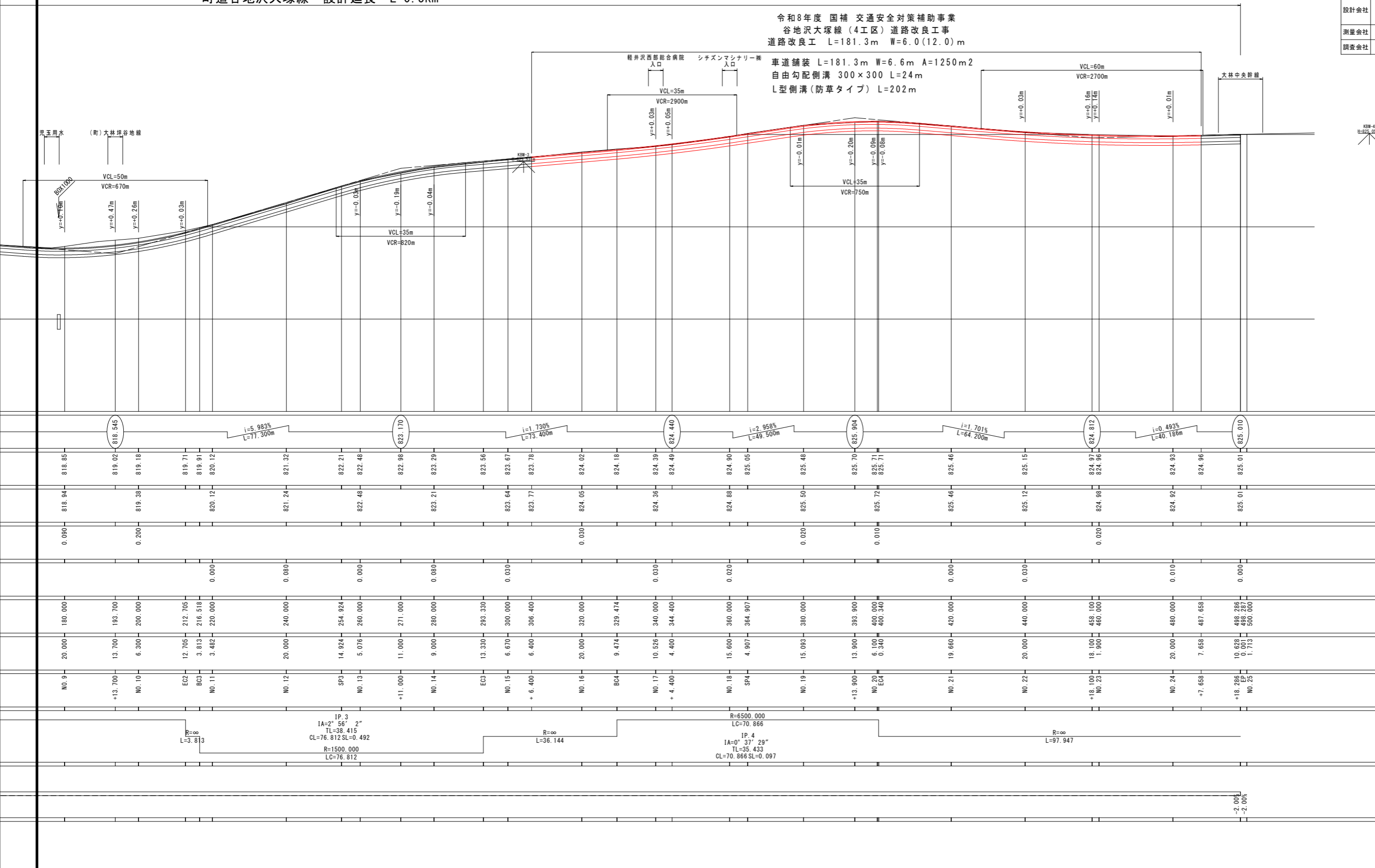
町道 谷地沢大塚線 北佐久郡御代田町児玉 大林

A1:SV=1/200 SH=1/1000  
A3:SV=1/400 SH=1/2000

町道谷地沢大塚線 設計延長 L=0.5km

令和8年度 国補 交通安全対策補助事業  
谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事  
道路改良工 L=181.3m W=6.0(12.0)m

車道舗装 L=181.3m W=6.6m A=1250m<sup>2</sup>  
自由勾配側溝 300×300 L=24m  
L型側溝 (防草タイプ) L=202m



KBM-4  
H=825.050m

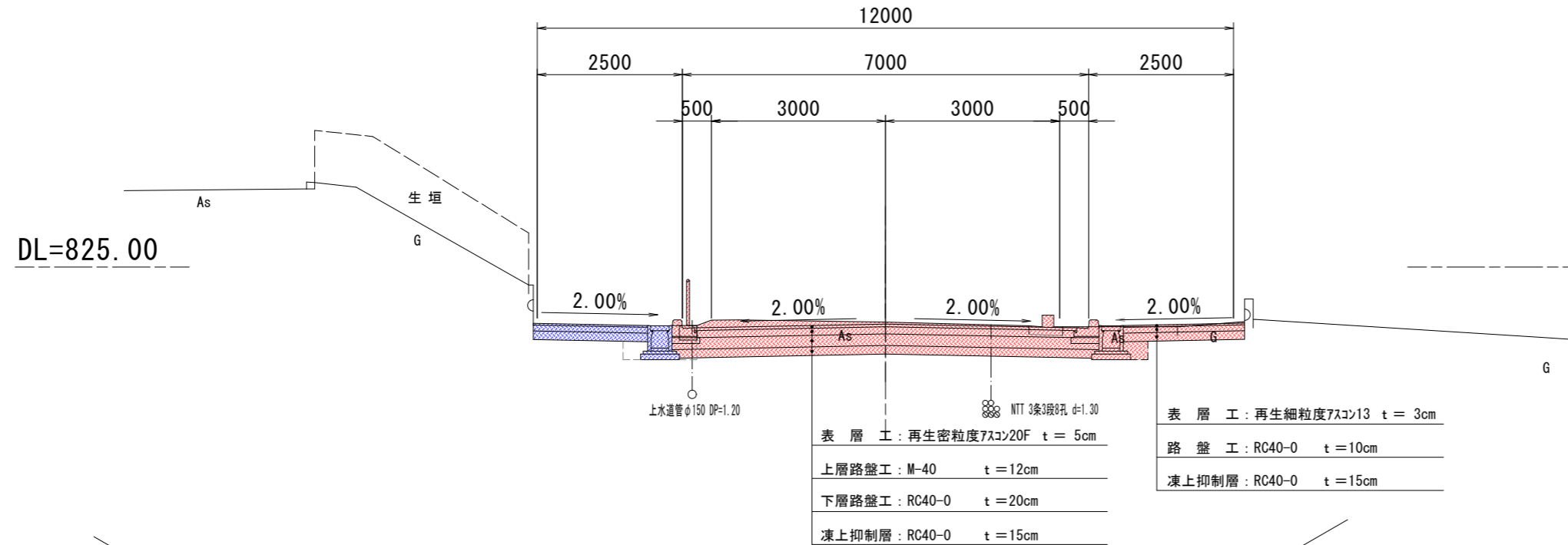
令和8年度 国補 交通安全対策補助事業			
谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事			
番号	3/12	縦断図 (2)	縮尺 図示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田町大字児玉 大林			
町長	小園 課長	金井 照査	嶋原 設計
御 代 田 町			
設計会社	日測設計株式会社	管理技術者	
		照査技術者	
測量会社	日測設計株式会社	主任技術者	
調査会社		主任技術者	

# 標準横断図

A1:1/50  
A3:1/100

## NO. 16

GH=824.05  
FH=824.02



表層工	: 再生細粒度7スコン13	t = 3cm
路盤工	: RC40-0	t = 10cm
凍上抑制層	: RC40-0	t = 15cm
表層工	: 再生密粒度7スコン20F	t = 5cm
上層路盤工	: M-40	t = 12cm
下層路盤工	: RC40-0	t = 20cm
凍上抑制層	: RC40-0	t = 15cm

設計諸元表			
構造規格	3種3線	交通量	現況交通量 3,843台/日 計画交通量 3,383台/日
巾員構成	2.50+0.50+3.00+3.00+0.50+2.50=12.0m	工種	道路改良
設計速度	40 km/h	縦断勾配	5.6%
最小半径	120 m	巾員	(車道)6.0m (歩道)1.5m
勾配	縦断 2.50~3.30% 横断 -2.0~-6.0%	路面	アスファルト舗装
地質			
舗装厚決定根拠 舗装設計施工指針			
(1)10年間における平均の大型車1日1方向交通量		141台/日・1方向 (N4交通)	(2)信頼度 90%
(3)各測点のCBR値		No.1 19.9 No.2 22.2 No.3 8.6	
(4)設計CBR値		8.0%	(5)理論最大凍結深さ 73 cm
(6)将来舗装計画			施工年度 年
(7)舗装厚		盛土区間	切土区間
設計CBR値より	T A目標値 14 cm	設計CBR値より	T A目標値 14 cm
凍結深さより	73×0.7 = 52cm	凍結深さより	73×0.7 = 52cm
表層工	5.0×1.0 = 5.00cm	表層工	5.0×1.0 = 5.00cm
上層路盤工	12.0×0.35 = 4.20cm	上層路盤工	12.0×0.35 = 4.20cm
下層路盤工	20.0×0.25 = 5.00cm	下層路盤工	20.0×0.25 = 5.00cm
計	37.0cm =14.20cm	計	37.0cm =14.20cm
置換層		置換層	
凍上抑制層	15.0cm	凍上抑制層	15.0cm
合計	52.0cm	合計	52.0cm

### 凍結深さの検討

計画区間の凍結指数は、既知地点の10年確率凍結指数をもとに標高補正後の凍結指数を求める。(舗装設計便覧 (H18.2) P279)

$$\text{標高補正後の凍結指数} = \text{既知地点凍結指数} \pm 0.5 \times \text{凍結期間 (日)} \times \frac{\text{その地点の標高 (m)} - \text{既知地点の標高 (m)}}{100}$$

既知点: 軽井沢 凍結指数 370 凍結期間 103  
既知地点の標高= 999.1 m  
その地点の標高= 826 m  
F= 370 + 0.5 × 103 × (826 - 999.1) ÷ 100 = 280.9 (°C・日)

凍結指数と凍結深さの関係より (舗装設計便覧 (H18.2) P75図-5.2.3)

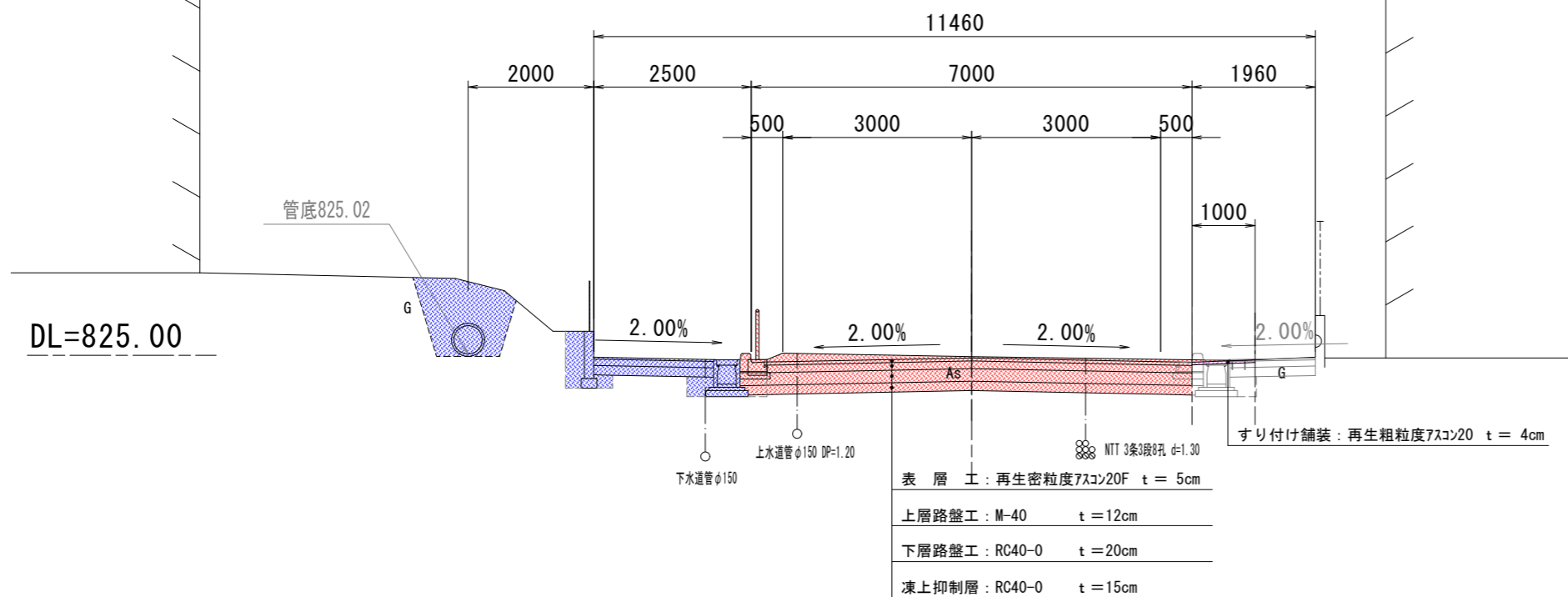
理論最大凍結深さ H= 73 cm

凍結深さによる置換深さは、理論最大凍結深さの70%とする。(舗装設計便覧 (H18.2) P74)

置換深さ H = 73 cm × 70% = 51.1 ≈ 52 cm

## NO. 23

GH=824.98  
FH=824.96



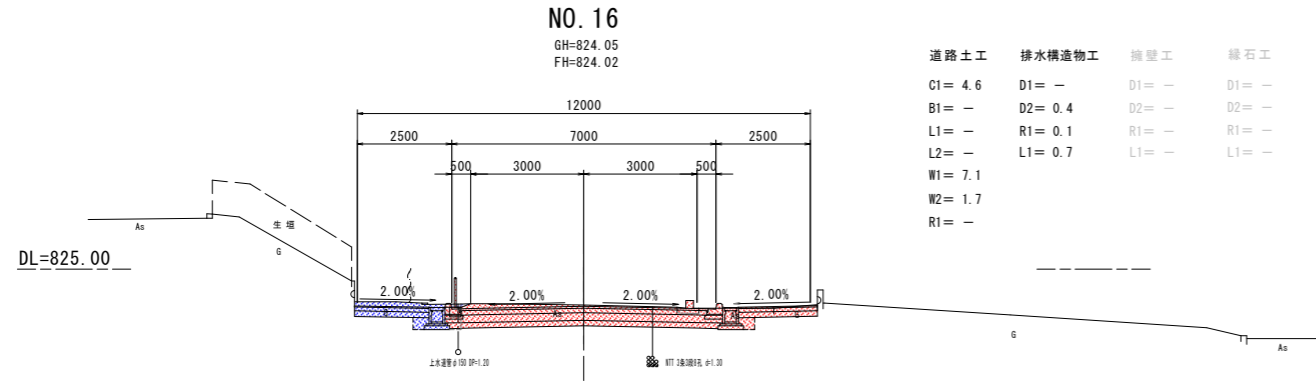
表層工	: 再生密粒度7スコン20F	t = 5cm
上層路盤工	: M-40	t = 12cm
下層路盤工	: RC40-0	t = 20cm
凍上抑制層	: RC40-0	t = 15cm
すり付け舗装	: 再生粗粒度7スコン20	t = 4cm

実施図

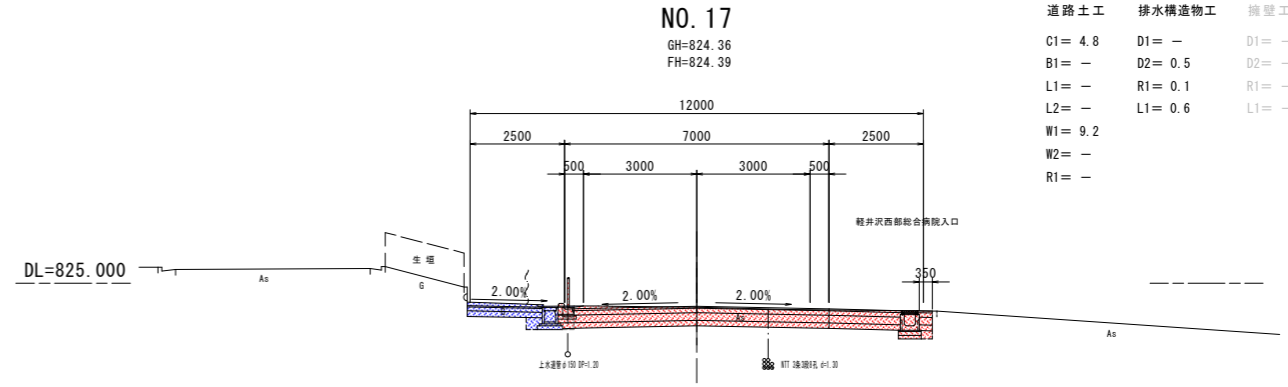
令和8年度 国補 交通安全対策補助事業			
谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事			
番号	4/12	標準横断図	縮尺 図示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田町大字児玉 大林			
町長	小園 謙	課長	金井 照
御代田町		副町長	嶋原 照
設計会社	日測設計株式会社	管理技術者	
測量会社	日測設計株式会社	照査技術者	
調査会社		主任技術者	

# 横断図 ( 1 )

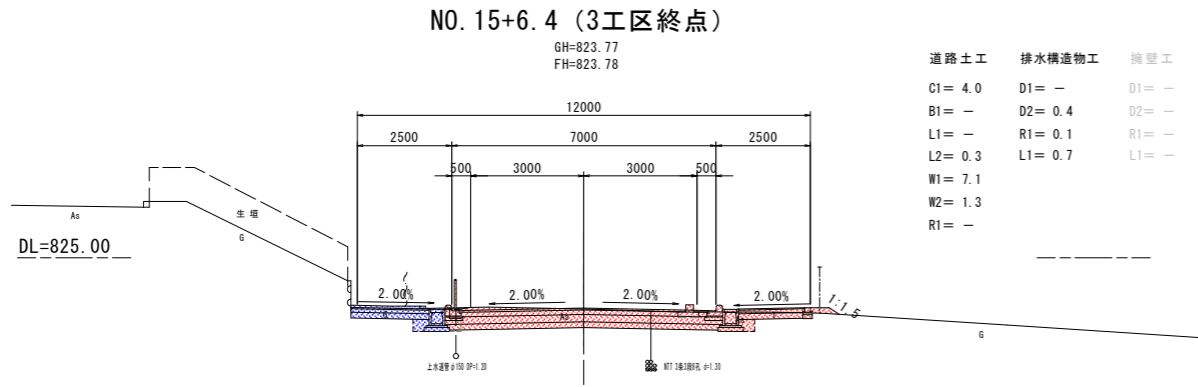
A1 S=1:100  
A3 S=1:200



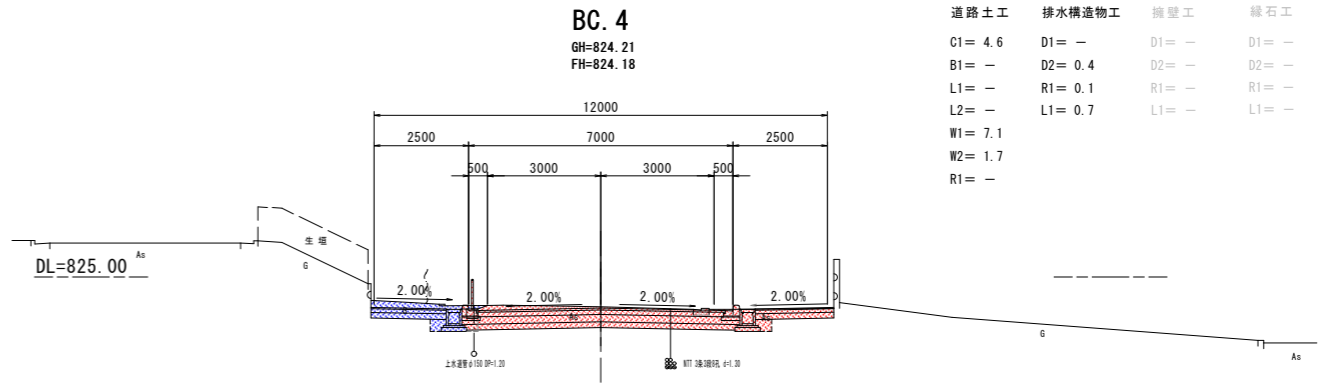
道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 4.6	D1= -	D1= -	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= -	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= -	L1= -
W1= 7.1			
W2= 1.7			
R1= -			



道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 4.8	D1= -	D1= -	D1= -
B1= -	D2= 0.5	D2= -	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -
L2= -	L1= 0.6	L1= -	L1= -
W1= 9.2			
W2= -			
R1= -			



道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 4.0	D1= -	D1= -	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= -	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -
L2= 0.3	L1= 0.7	L1= -	L1= -
W1= 7.1			
W2= 1.3			
R1= -			



道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 4.6	D1= -	D1= -	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= -	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= -	L1= -
W1= 7.1			
W2= 1.7			
R1= -			

道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 掘削	D1= 床 堀	D1= 床 堀	D1= 床 堀
B1= 路床盛土	D2= 床 堀(掘削)	D2= 床 堀(掘削)	D2= 床 堀(掘削)
L1= 切土法面整形	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し
L2= 盛土法面整形	L1= 基面整正	L1= 基面整正	L1= 基面整正
W1= 車道不陸整正			
W2= 歩道不陸整正			
R1= 路肩盛土			

実施図

令和8年度 国補 交通安全対策補助事業			
谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事			
番 号	5 / 12	横断図 (1)	縮 尺 図 示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田町大字兒玉 大林			
町 長	小 園 謙 夫	課 長	金 井 照 彦
御 代 田 町		設 計	嶋 原 森 泉
設計会社	日測設計株式会社	管理技術者	
測量会社	日測設計株式会社	照査技術者	
調査会社		主任技術者	

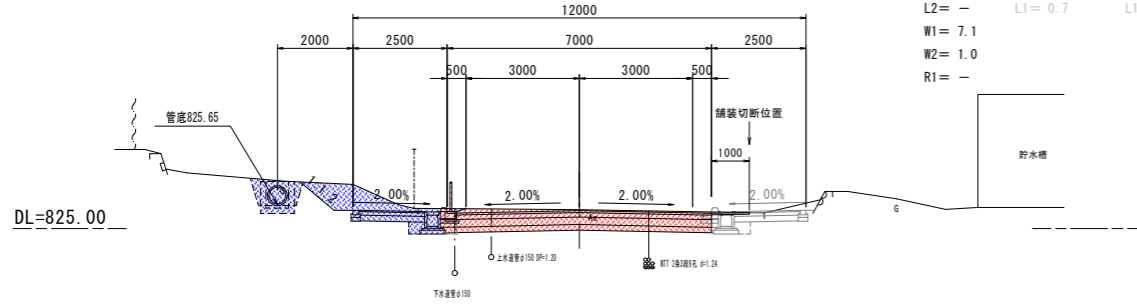
\* 上下水道管・下水道管・ガス管等の地下埋設管の位置・管理については、埋設管理者より貸与の管理図を基に推定位置を記載したものである。

# 横断図 ( 2 )

A1 S=1:100  
A3 S=1:200

## NO. 19

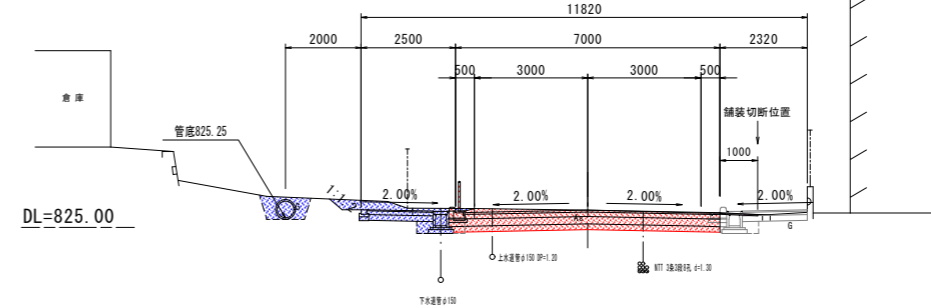
GH=825.50  
FH=825.48



道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工	管渠工
C1= 4.0	D1= -	D1= -	D1= -	D1= 0.8
B1= -	D2= 0.4	D2= -	D2= -	R1= 0.6
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -	L1= 1.0
L2= -	L1= 0.7	L1= -	L1= 0.3	
W1= 7.1				
W2= 1.0				
R1= -				

## NO. 21

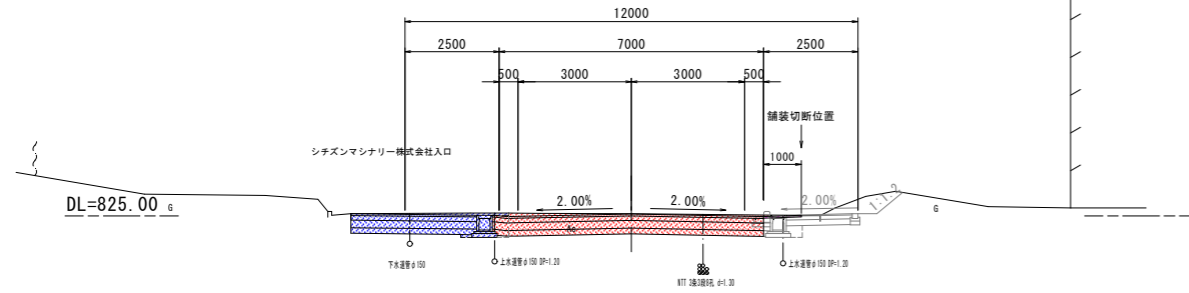
GH=825.46  
FH=825.46



道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工	管渠工
C1= 3.8	D1= -	D1= -	D1= -	D1= 0.7
B1= -	D2= 0.4	D2= -	D2= -	R1= 0.5
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -	L1= 1.0
L2= -	L1= 0.7	L1= -	L1= 0.3	
W1= 7.1				
W2= 1.0				
R1= -				

## SP. 4

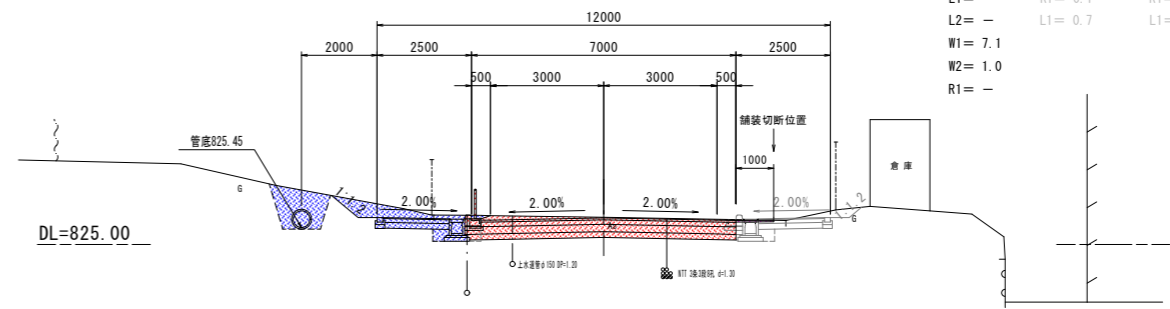
GH=825.06  
FH=825.05



道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 4.0	D1= -	D1= -	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= -	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= -	L1= 0.3
W1= 7.1			
W2= 1.0			
R1= -			

## EC. 4

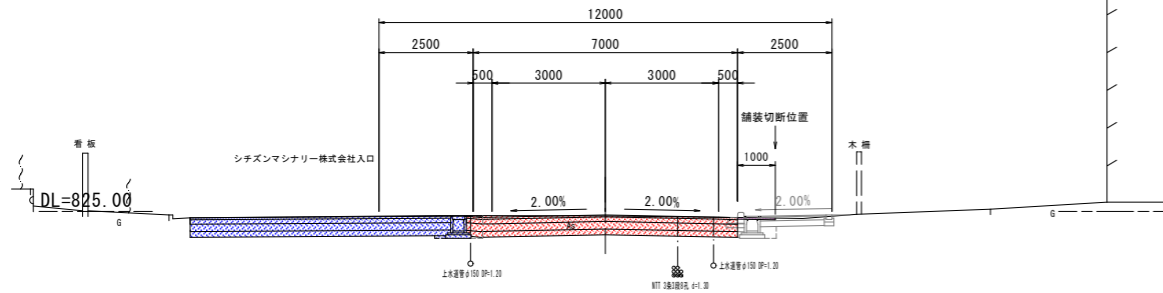
GH=825.72  
FH=825.71



道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工	管渠工
C1= 3.9	D1= -	D1= -	D1= -	D1= 1.4
B1= -	D2= 0.4	D2= -	D2= -	R1= 1.1
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -	L1= 1.0
L2= -	L1= 0.7	L1= -	L1= 0.3	
W1= 7.1				
W2= 1.0				
R1= -				

## NO. 18

GH=824.88  
FH=824.90



道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 3.8	D1= -	D1= -	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= -	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= -	L1= 0.3
W1= 7.1			
W2= 1.0			
R1= -			

道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工	管渠工
C1= 掘削	D1= 床堀	D1= 床堀	D1= 床堀	D1= 床堀
B1= 路床盛土	D2= 床堀(掘削)	D2= 床堀(掘削)	D2= 床堀(掘削)	R1= 埋戻し
L1= 切土法面整形	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し	L1= 基面整形
L2= 盛土法面整形	L1= 基面整形	L1= 基面整形	L1= 基面整形	
W1= 車道不陸整正				
W2= 歩道不陸整正				
R1= 路肩盛土				

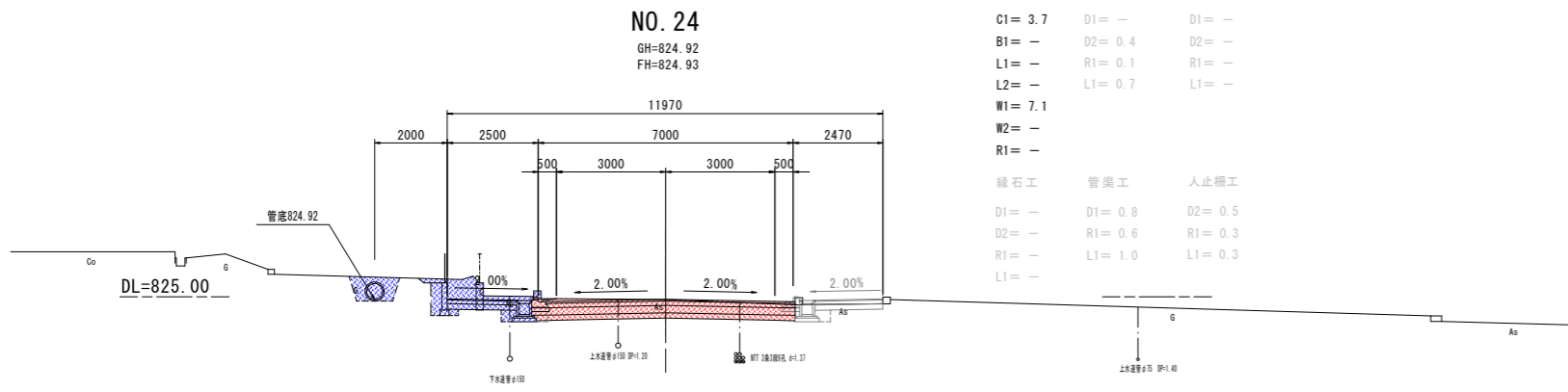
実施図

令和8年度 国補 交通安全対策補助事業 谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事				
番号	6/12	横断図 (2)	縮尺	図示
町道 谷地沢大塚線				
北佐久郡御代田町大字兒玉 大林				
町長	小園	課長	金井	照査 嶋原 設計 森泉
御代田町				
設計会社	日測設計株式会社		管理技術者	
測量会社	日測設計株式会社		照査技術者	
調査会社			主任技術者	

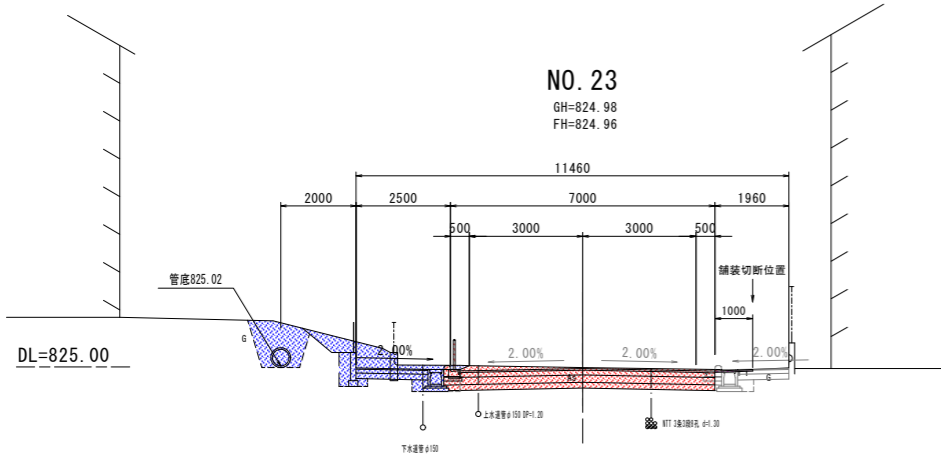
\* 上下水道管・下水道管・ガス管等の地下埋設管の位置・管理については、埋設管理者より貸与の管理図を基に推定位置を記載したものである。

# 横断図 ( 3 )

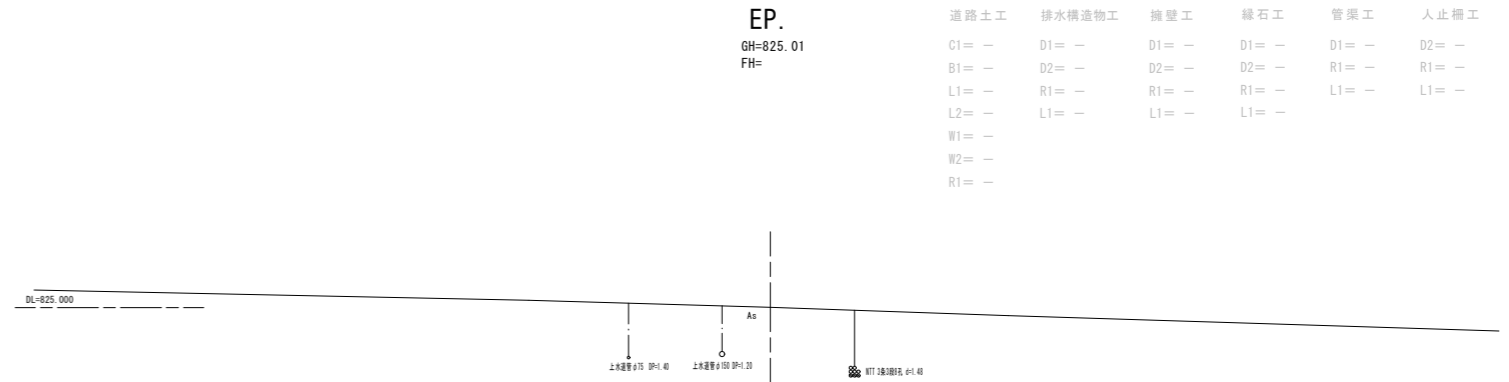
A1 S=1:100  
A3 S=1:200



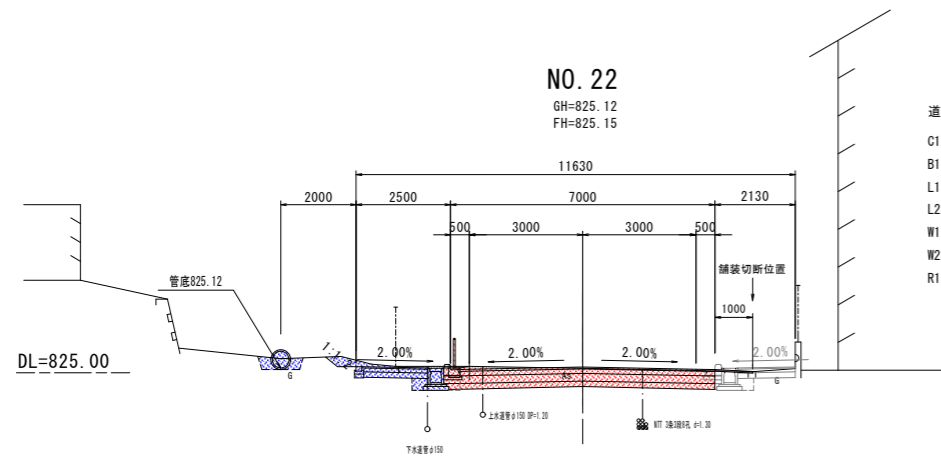
道路土工	排水構造物工	擁壁工
C1= 3.7	D1= -	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= -
W1= 7.1		
W2= -		
R1= -		
緑石工	管渠工	人止柵工
D1= -	D1= 0.8	D2= 0.5
D2= -	R1= 0.6	R1= 0.3
R1= -	L1= 1.0	L1= 0.3
L1= -		



道路土工	排水構造物工	擁壁工
C1= 4.1	D1= -	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= -
W1= 7.1		
W2= 1.0		
R1= -		
緑石工	管渠工	人止柵工
D1= -	D1= 1.6	D2= 0.5
D2= -	R1= 1.4	R1= 0.3
R1= -	L1= 1.0	L1= 0.3
L1= -		



道路土工	排水構造物工	擁壁工	緑石工	管渠工	人止柵工
C1= -	D1= -	D1= -	D1= -	D1= -	D2= -
B1= -	D2= -	D2= -	D2= -	R1= -	R1= -
L1= -	R1= -	R1= -	R1= -	L1= -	L1= -
L2= -	L1= -	L1= -	L1= -		
W1= -					
W2= -					
R1= -					



道路土工	排水構造物工	擁壁工	緑石工	管渠工
C1= 3.6	D1= -	D1= -	D1= -	D1= 0.3
B1= -	D2= 0.4	D2= -	D2= -	R1= 0.2
L1= -	R1= 0.1	R1= -	R1= -	L1= 1.0
L2= -	L1= 0.7	L1= -	L1= 0.3	
W1= 7.1				
W2= 1.0				
R1= -				

道路土工	排水構造物工	擁壁工	緑石工	管渠工	人止柵工
C1= 掘削	D1= 床堀	D1= 床堀	D1= 床堀	D1= 床堀	D2= 床堀(掘削)
B1= 路床盛土	D2= 床堀(掘削)	D2= 床堀(掘削)	D2= 床堀(掘削)	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し
L1= 切土法面整形	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し	L1= 基面整正	L1= 基面整正
L2= 盛土法面整形	L1= 基面整正	L1= 基面整正	L1= 基面整正		
W1= 車道不陸整正					
W2= 歩道不陸整正					
R1= 路肩盛土					

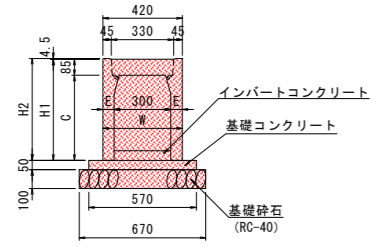
実施図

令和7年度 国補 交通安全対策補助事業 谷地沢大塚線 (2工区) 道路改良工事					
番号	7/12	横断図 (3)		縮尺	図示
町道 谷地沢大塚線					
北佐久郡御代田町大字兒玉 大林					
町長	小園	課長	金井	照査	嶋原
設計		森泉			
御代田町					
設計会社	日測設計株式会社		管理技術者		
測量会社	日測設計株式会社		照査技術者		
調査会社			主任技術者		

\* 上水道管・下水道管・ガス管等の地下埋設管の位置・管理については、埋設管理者より貸与の管理図を基に推定位置を記載したものである。

# 構造図 (1)

防音型自由勾配側溝  
縦断面 A1 : 1/20  
A3 : 1/40

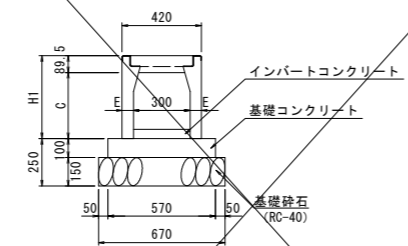


自由勾配側溝(縦断面)数量表

側溝高 (H)	寸法 (mm)						参考質量 (kg)	基礎工数量表 (10m当り)		
	W	C	E	h	H1	H2		基礎コン (m3)	基礎砕石 (m2)	型枠 (m2)
300	420	350	60	-	435	440	318	0.29	6.70	1.00
400	420	450	60	-	535	540	376	0.29	6.70	1.00
500	420	550	60	-	635	640	434	0.29	6.70	1.00
600	450	650	75	-	735	740	584	0.29	6.70	1.00

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。  
注) 製品重量は 製品長 L=2.0m (標準品) の重量です。

横断面用自由勾配側溝  
横断面 B300×H300 A1 : 1/20  
A3 : 1/40

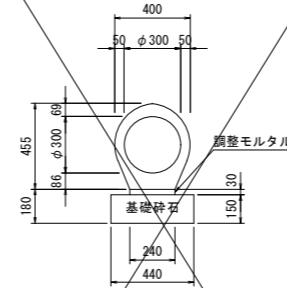


自由勾配側溝(横断面)数量表

側溝高 (H)	寸法 (mm)						参考質量 (kg)	基礎工数量表 (10m当り)		
	W	C	E	h	H1	H2		基礎コン (m3)	基礎砕石 (m2)	型枠 (m2)
300	420	350	60	-	440	440	340	0.57	6.70	2.00

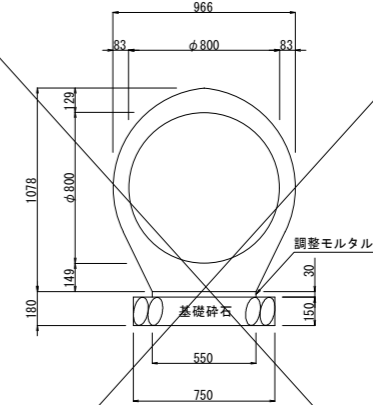
注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。  
注) 製品重量は 製品長 L=2.0m (標準品) の重量です。

台付管φ300 A1 : 1/20  
A3 : 1/40



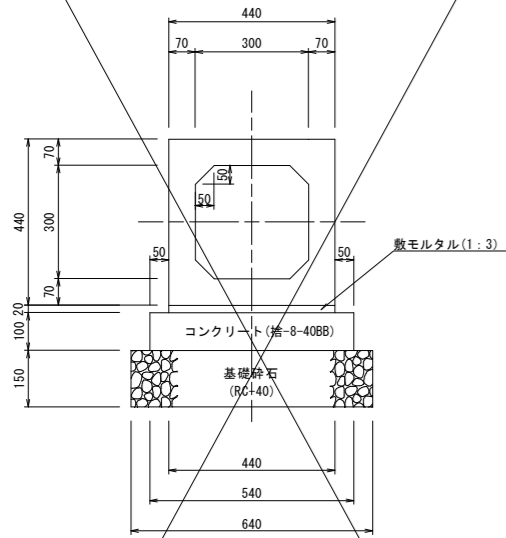
パイコン台付管 (φ300) (10m当り)			
種別	規格	単位	数量
パイコン台付管	VP-300	個	5.0
調整モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.07
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	4.4
備考	参考重量 (L=2.0m) ・ ・ ・ 368kg		

台付管φ800 A1 : 1/20  
A3 : 1/40



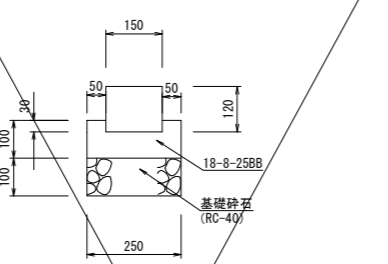
パイコン台付管 (φ800) (10m当り)			
種別	規格	単位	数量
パイコン台付管	VP-800	個	4.0
調整モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.17
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	7.5
備考	参考重量 (L=2.5m) ・ ・ ・ 1994kg		

BOXカルバート  
300×300 A1 : 1/10  
A3 : 1/20



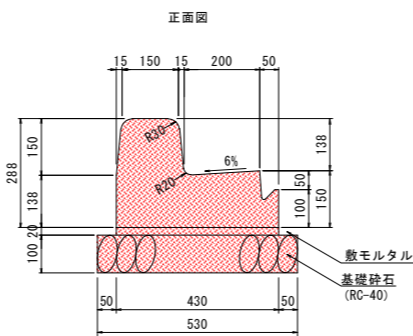
ボックスカルバート (300×300) (10m当り)			
種別	規格	単位	数量
ボックスカルバート		個	5.0
コンクリート	捨-8-40BB	m <sup>3</sup>	0.54
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.4
型枠		m <sup>2</sup>	2.0
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.09
備考			

地先境界ブロック  
(B種) A1 : 1/10  
A3 : 1/20



地先境界ブロック (B種) (10m当り)			
種別	規格	単位	数量
地先境界ブロック		個	16.5
コンクリート	18-8-25BB	m <sup>3</sup>	0.21
型枠		m <sup>2</sup>	2.0
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	2.5
備考			

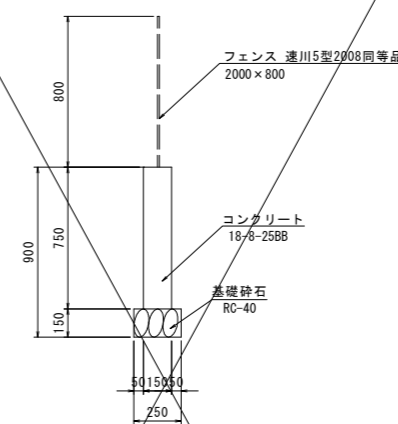
L型側溝(防草タイプ)  
両R-A A1 : 1/10  
A3 : 1/20



L型側溝 (A種) (10m当り)			
種別	規格	単位	数量
L型側溝(防草タイプ)	A種 L=2000	個	4.95
調整モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.09
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	5.3
備考			

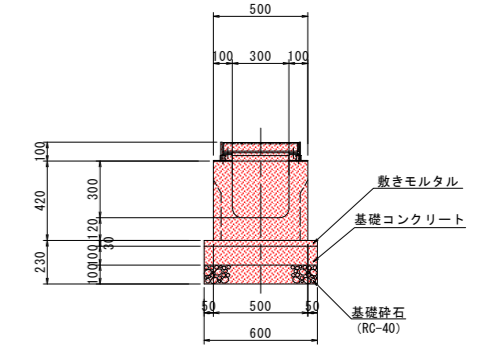
※一部L=600使用 16.5個/10m

人止柵基礎 A1 : 1/20  
A3 : 1/40



人止柵基礎 (10m当り)			
種別	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-25BB	m <sup>3</sup>	1.13
型枠		m <sup>2</sup>	15.0
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	2.5
備考			

U型側溝300型 全面ゲレーチングタイプ  
(横断面) A1 : 1/20  
A3 : 1/40



300型数量表

種別	基礎幅	基礎厚	基礎Cφ厚	10m当り数量			製品重量 (kg)	標準差
				モルタル (m3)	基礎CO (m3)	基礎砕石 (m3)		
300×300	600	100	100	0.180	0.600	0.600	490	237
350				523				
400				555				
500				619				

※基礎の形状は参考値です。

## 実施図

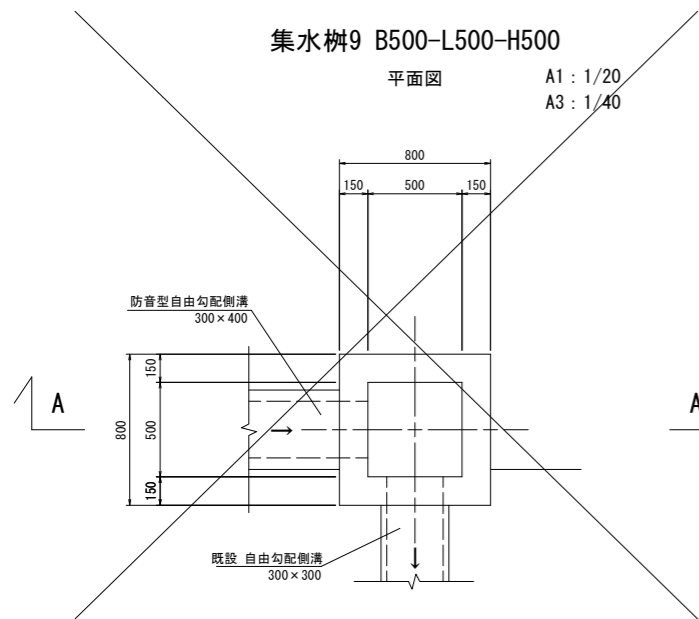
令和8年度 国庫補助 交通安全対策補助事業 谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事			
番号	12	構造図	縮尺 図示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田町大字児玉 大林			
町長	小園 謙	課長	金井 照
副町長	藤原 隆	設計	森泉
御代田町			
設計会社	日測設計株式会社	管理技術者	
測量会社	日測設計株式会社	調査技術者	
調査会社		主任技術者	

# 構造図 (2)

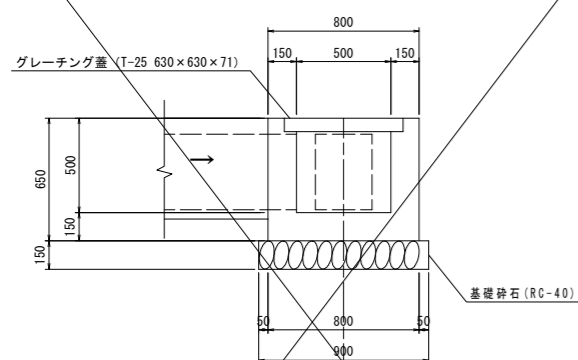
集水樹9 B500-L500-H500

平面図

A1 : 1/20  
A3 : 1/40



A-A断面図



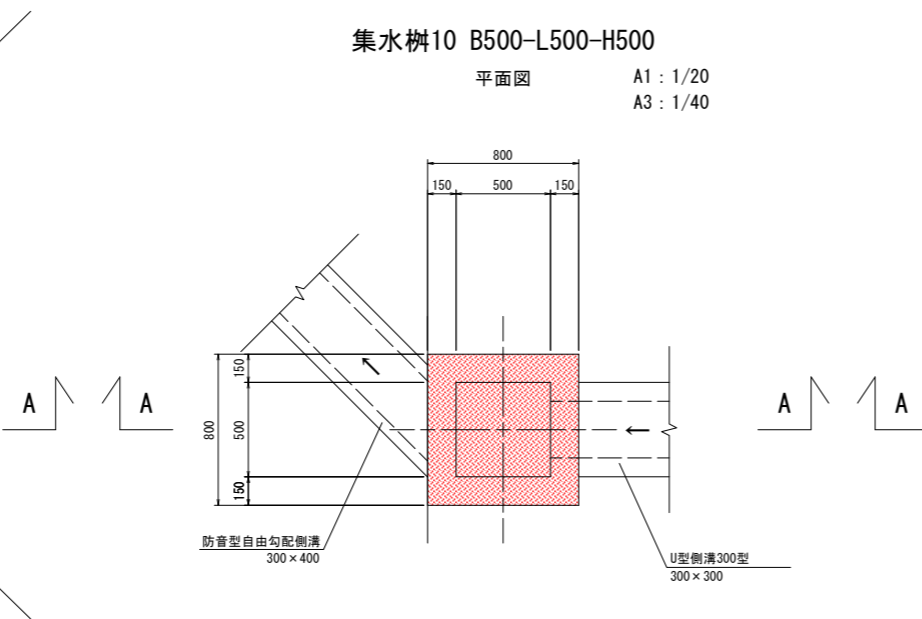
集水樹9数量集計表

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-25BB W/C=60%以下	m3	0.25
型枠		m2	3.0
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	0.8
グレーチング	T-25 630×630×71	枚	1.0

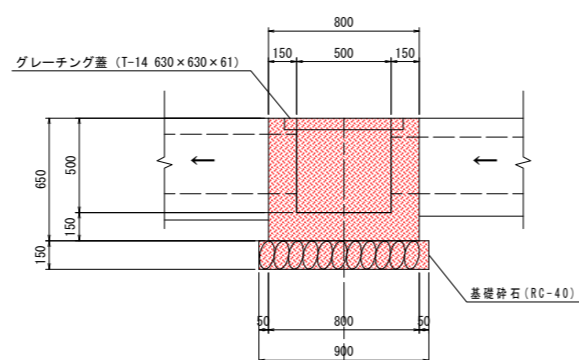
集水樹10 B500-L500-H500

平面図

A1 : 1/20  
A3 : 1/40



A-A断面図



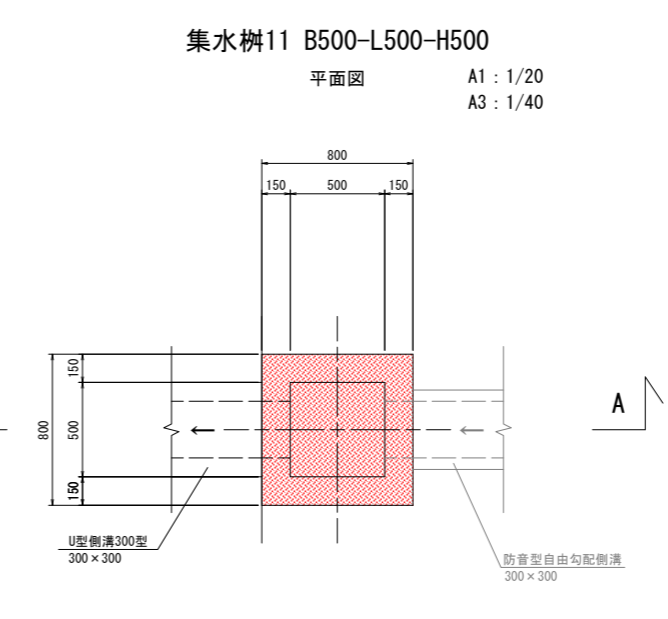
集水樹10数量集計表

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-25BB W/C=60%以下	m3	0.24
型枠		m2	2.9
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	0.8
グレーチング	T-14 630×630×61	枚	1.0

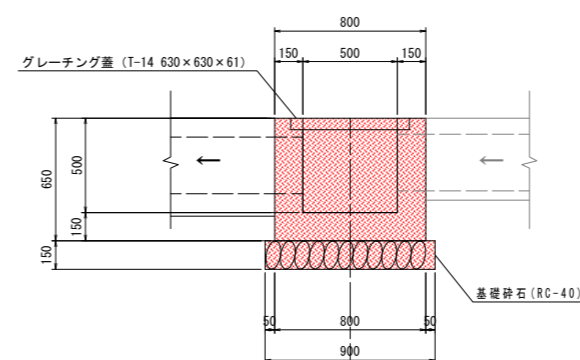
集水樹11 B500-L500-H500

平面図

A1 : 1/20  
A3 : 1/40



A-A断面図



集水樹11数量集計表

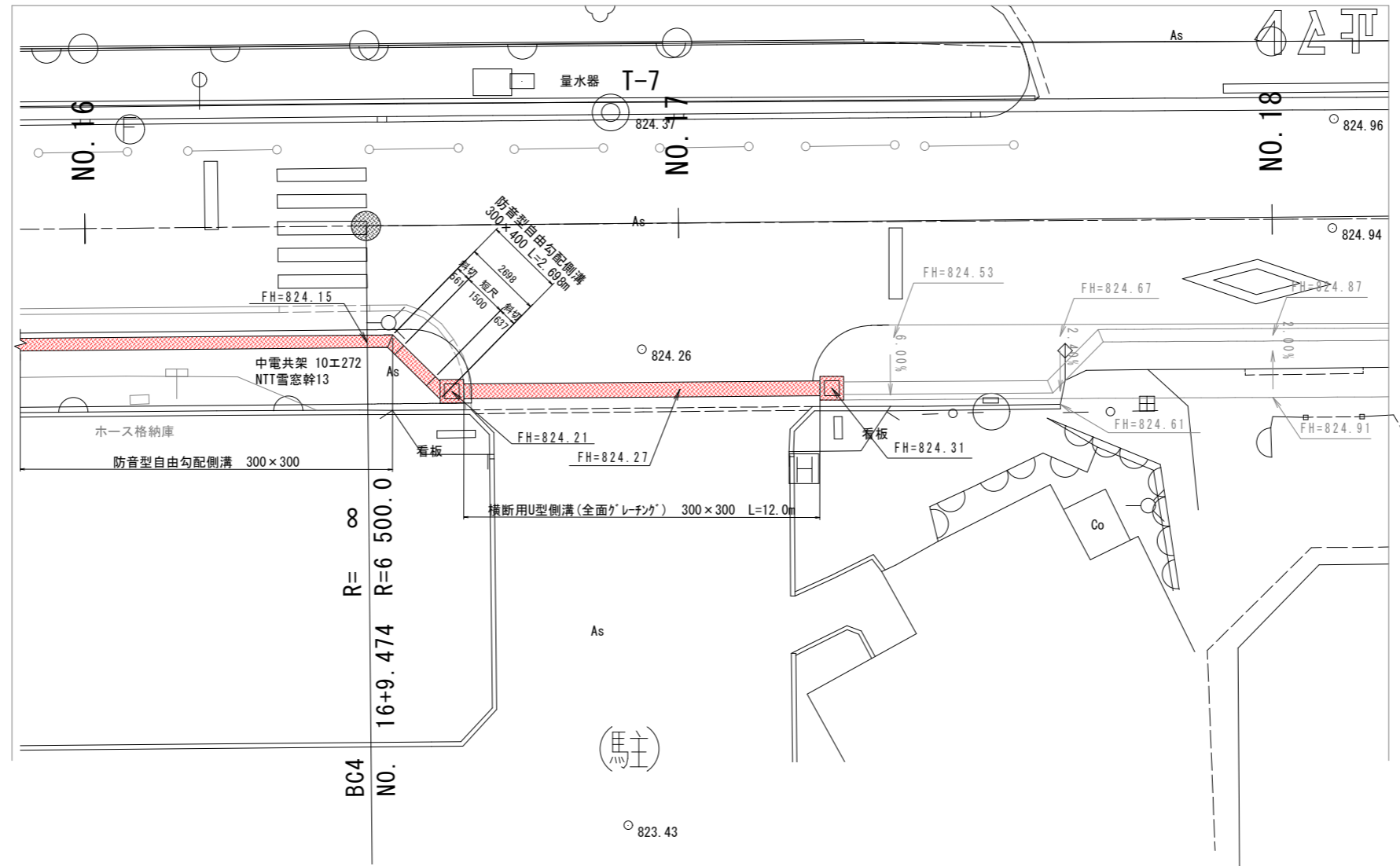
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-25BB W/C=60%以下	m3	0.24
型枠		m2	2.9
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	0.8
グレーチング	T-14 630×630×61	枚	1.0

実施図

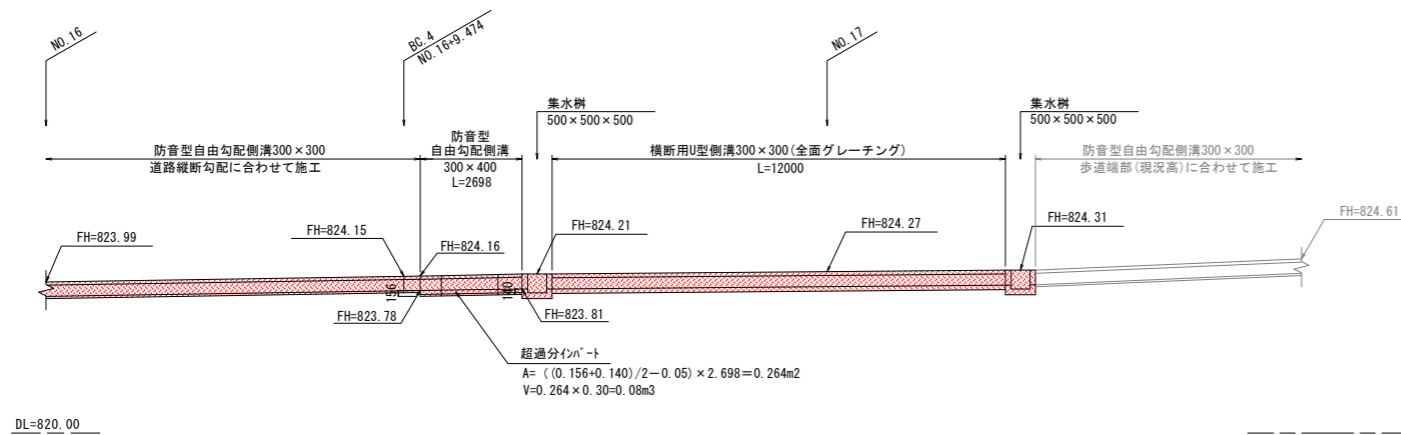
令和8年度 国補 交通安全対策補助事業			
谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事			
番号	9/12	構造図 (2)	縮尺 図示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田町大字兒玉 大林			
町長	小園 謙	課長	小林 照
		設計	柳沢 森泉
御代田町			
設計会社	日測設計株式会社	管理技術者	
		照査技術者	
測量会社	日測設計株式会社	主任技術者	
調査会社		主任技術者	

# 自由勾配側溝展開図 (病院出入口部)

平面詳細 A1:1/100 A3:1/200



側溝展開図 A1:1/100 A3:1/200



実施図

令和8年度 国補 交通安全対策補助事業					
谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事					
番号	10	12	自由勾配側溝展開図	縮尺	図示
町道 谷地沢大塚線					
北佐久郡御代田町大字兒玉 大林					
町長	小園	課長	金井	照査	嶋原
				設計	森泉
御 代 田 町					
設計会社	日測設計株式会社		管理技術者		
			照査技術者		
測量会社	日測設計株式会社		主任技術者		
調査会社			主任技術者		

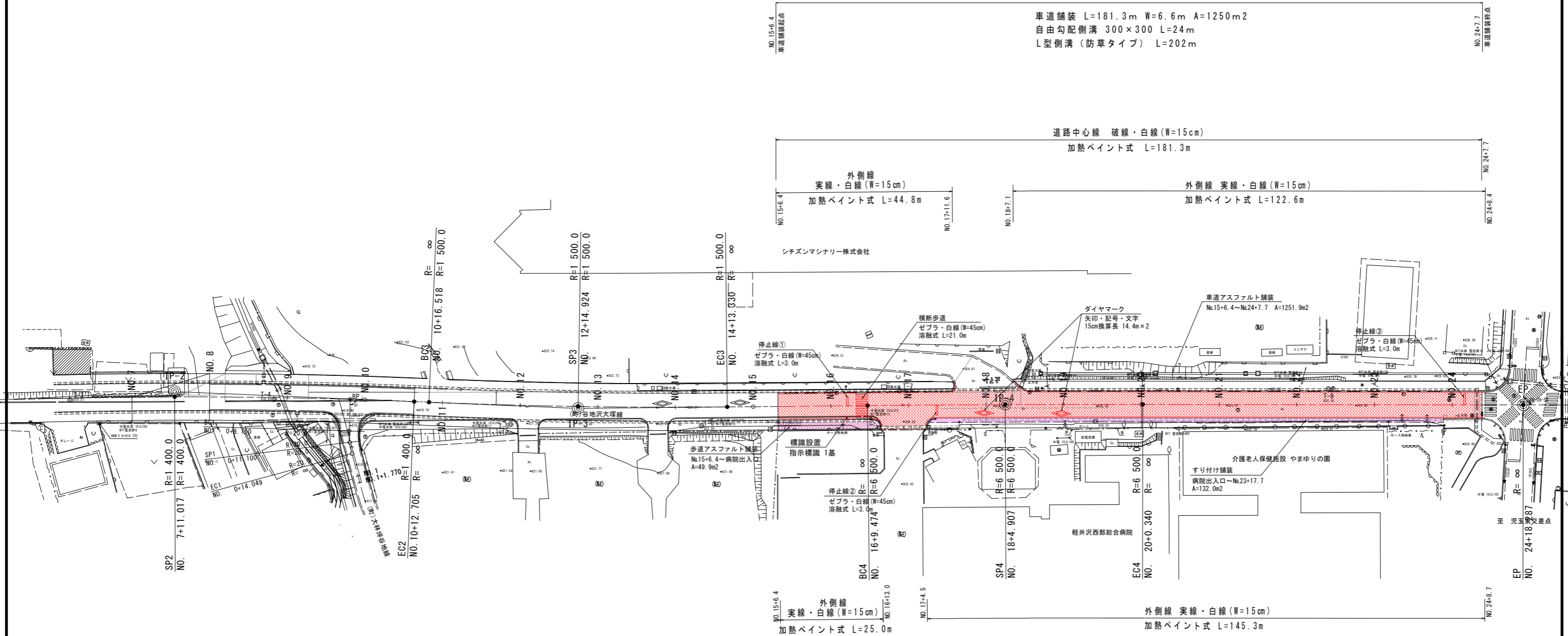
# 舗装面積図

町道 谷地沢大塚線 北佐久郡御代田町児玉 大林

A1:1/500  
A3:1/1000

令和8年度 国補 交通安全対策補助事業  
谷地沢大塚線(4工区)道路改良工事  
道路改良工 L=181.3m W=6.0(12.0)m

車道舗装 L=181.3m W=6.6m A=1250m<sup>2</sup>  
自由勾配側溝 300×300 L=24m  
L型側溝(防草タイプ) L=202m



本線車道舗装

種別	規格	計算式	数量(m <sup>2</sup> )
表層	再生密粒度アスコン20F t=5cm	A=1247.4+4.49=1251.9 (CAD計測による)	1251.9
上層路盤工	粒度調整砕石 M-40 t=12cm	A=1247.4+4.49=1251.9 (CAD計測による)	1251.9
下層路盤工	再生クラッシャーラン RC40-0 t=20cm	A=1247.4+4.49=1251.9 (CAD計測による)	1251.9
凍上抑制層	再生クラッシャーラン RC40-0 t=15cm	A=1247.4+4.49=1251.9 (CAD計測による)	1251.9

すり付け舗装

種別	規格	計算式	数量(m <sup>2</sup> )
表層	再生粗粒度アスコン20 t=4cm	A=132.0 (CAD計測による)	132.0

区画線工

種別	規格	計算式	数量(m)
道路中心線	破線・白線(W=15cm) 加熱ペイント式	L=181.3/2=90.7m (CAD計測による)	90.7
外側線	実線・白線(W=15cm) 加熱ペイント式	L=44.8+122.6+25.0+145.3=337.7m (CAD計測による)	337.7
停止線	ゼブラ・白線(W=45cm) 溶融式	L=3.0×3箇所=9.0m	9.0
横断歩道	ゼブラ・白線(W=45cm) 溶融式	L=21.0m (3.0×7)	21.0
ダイヤモンド	矢印・記号・文字 溶融式	L=14.4×2箇所=28.8m (15cm換算長)	28.8

本線歩道舗装

種別	規格	計算式	数量(m <sup>2</sup> )
表層	再生細粒度アスコン13 t=3cm	A=46.89+1.96=48.9 (CAD計測による)	48.9
路盤工	再生クラッシャーラン RC40-0 t=10cm	A=46.89+1.96=48.9 (CAD計測による)	48.9
凍上抑制層	再生クラッシャーラン RC40-0 t=15cm	A=46.89+1.96=48.9 (CAD計測による)	48.9

点名	X座標	Y座標	備考
御基1-A23	34559.578	1543.978	※直接水準
御基3-E39	34791.506	1076.357	※直接水準
T-1	34772.796	1092.636	※直接水準
T-2	34751.054	1140.116	※直接水準
T-3	34732.037	1194.040	※直接水準
T-4	34709.986	1241.701	※直接水準
T-5	34678.413	1294.217	※直接水準
T-6	34657.299	1338.543	※直接水準
T-7	34643.932	1388.615	※直接水準
T-8	34615.508	1430.998	※直接水準
T-9	34597.693	1488.861	※直接水準

実施図

令和8年度 国補 交通安全対策補助事業  
谷地沢大塚線(4工区)道路改良工事

町道 谷地沢大塚線  
北佐久郡御代田町大字児玉 大林

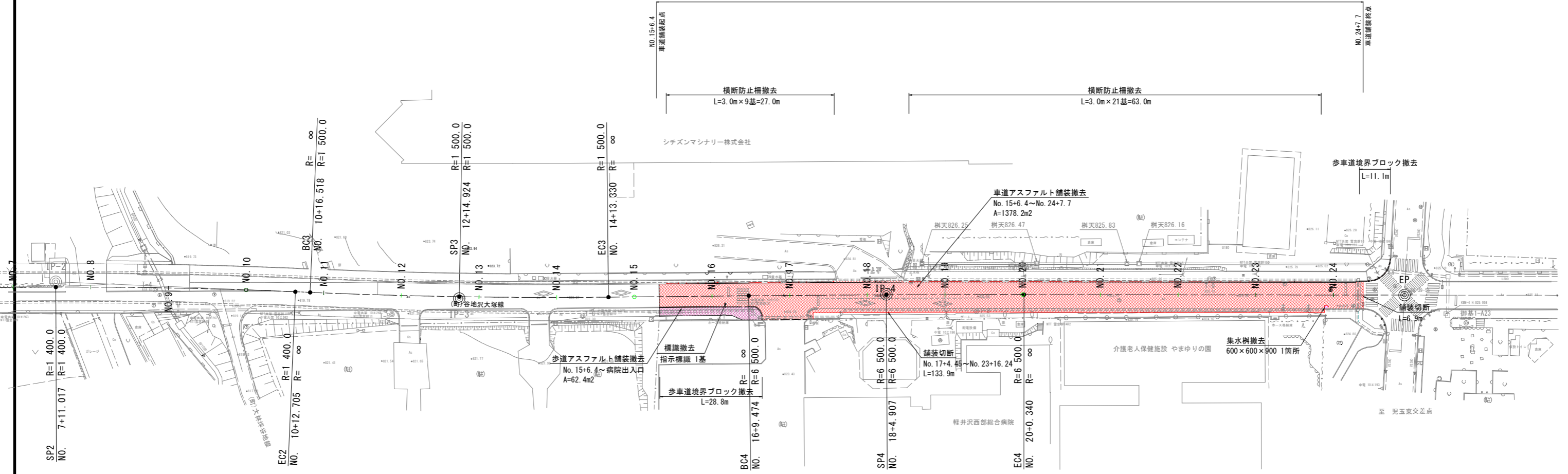
設計者	日測設計株式会社	管理技術者	
調査者	日測設計株式会社	照査技術者	
測量者	日測設計株式会社	主任技術者	
調査者		主任技術者	

# 撤去平面図

A1:1/500  
A3:1/1000

## 町道 谷地沢大塚線 北佐久郡御代田町児玉 大林

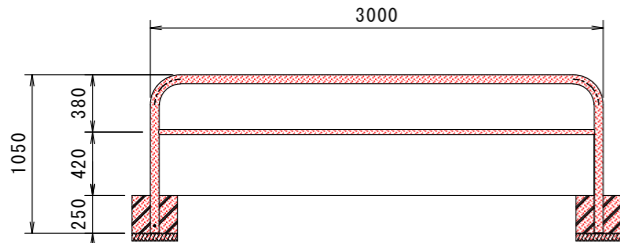
令和8年度 国補 交通安全対策補助事業  
谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事  
道路改良工 L=181.3m W=6.0(12.0)m



歩車道境界ブロック 撤去延長 28.8+11.1=39.9m



横断防止柵撤去 27.0+63.0=90.0m (30基)  
φ60.5 24.0kg/基



プレキャスト基礎 300×300×250

プレキャスト基礎撤去  $0.3 \times 0.3 \times 0.25 - \{ (0.03 \times 0.03 \times \pi) \times 0.25 \} = 0.022\text{m}^3/\text{個}$   
 $0.022\text{m}^3/\text{個} \times 2 \times 30\text{基} = 1.3\text{m}^3$

アスファルト舗装切断  
L=133.9+6.9=140.8m

車道アスファルト舗装撤去  
A=1378.2m<sup>2</sup>

歩道アスファルト舗装撤去  
A=62.4m<sup>2</sup>

標識撤去  
指示標識 1基 (標識版は再利用)  
標識柱 重量  
4.52kg/m × 3.2m = 14.5kg

撤去構造物集計表

名称	規格	撤去数量	単位	計算式	体積 (m <sup>3</sup> )	重量 (t)
アスファルト舗装切断				$(0.9 \times 0.9 \times 1.05) - (0.6 \times 0.6 \times 0.9)$		
集水樹 600×600×900		1	箇所	= 0.53	0.5	
無筋構造物 合計					0.5	1.2
歩車道境界ブロック		39.9	m	$39.9 \times 0.11 = 4.39$	4.4	
横断防止柵基礎		30	基	$0.022 \times 2 \times 30 = 1.32$	1.3	
2次製品 合計					5.7	14.3
横断防止柵		30	基	$0.024 \times 30 = 0.72$		0.72
標識柱		1	基	$0.015 \times 1 = 0.02$		0.02
鉄スクラップ 合計						0.74
アスファルト舗装切断	15cm以下	140.8	m			
車道アスファルト舗装撤去	表層5cm	1378.2	m <sup>2</sup>	$1378.2 \times 0.05 = 68.91$	68.9	161.9
歩道アスファルト舗装撤去	表層3cm	62.4	m <sup>2</sup>	$62.4 \times 0.03 = 1.87$	1.9	4.0
合計		1440.6	m <sup>2</sup>		70.8	165.9
アスファルト 合計						

実施図

令和8年度 国補 交通安全対策補助事業					
谷地沢大塚線 (4工区) 道路改良工事					
番号	12	12	撤去平面図	縮尺	図示
町道 谷地沢大塚線					
北佐久郡御代田町大字児玉 大林					
町長	小園	課長	金井	照査	嶋原
設計	日測設計株式会社	主任技術者	照査	日測設計株式会社	主任技術者
調査	日測設計株式会社	主任技術者	照査	日測設計株式会社	主任技術者
調査	日測設計株式会社	主任技術者	照査	日測設計株式会社	主任技術者